

環境調査結果のお知らせ

平成28年3月10日午前9時から野見・須崎湾の環境調査を行いましたので、結果をお知らせします。

概況

湾内の環境は、水温14~16℃、塩分28~33、溶存酸素量8~9mg/lでした。
透明度は2~7mで、有害種のコクロディニウム・ポリクリコイデスが多数確認されました。

水温と塩分(表1・2)

水温13.9~16.0℃、塩分28.1~32.9でした。
前回調査時(H28.2.25)と比較して、水温は2m層から底層で0.2~0.4℃上昇しました。塩分は表層から10m層で0.1~0.7下降し、底層で0.1上昇しました。

溶存酸素量(表3)

溶存酸素量7.9~8.9mg/lでした。
前回調査時と比較して、溶存酸素量は全層で0.4~0.9mg/l増加しました。

プランクトン(表4・5)

透明度は2.0~6.9mでした。
検鏡の結果、魚類に非常に有害なコクロディニウム・ポリクリコイデスが最高で2,916cells/ml確認されました。
コクロディニウムによる漁業被害が想定される細胞密度を上回った観測点があり、まだ複数あります。
今回少数だった養殖漁場においても慎重な養殖管理をお願いします。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、よく洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、中央漁業指導所か水産試験場まで連絡してください。

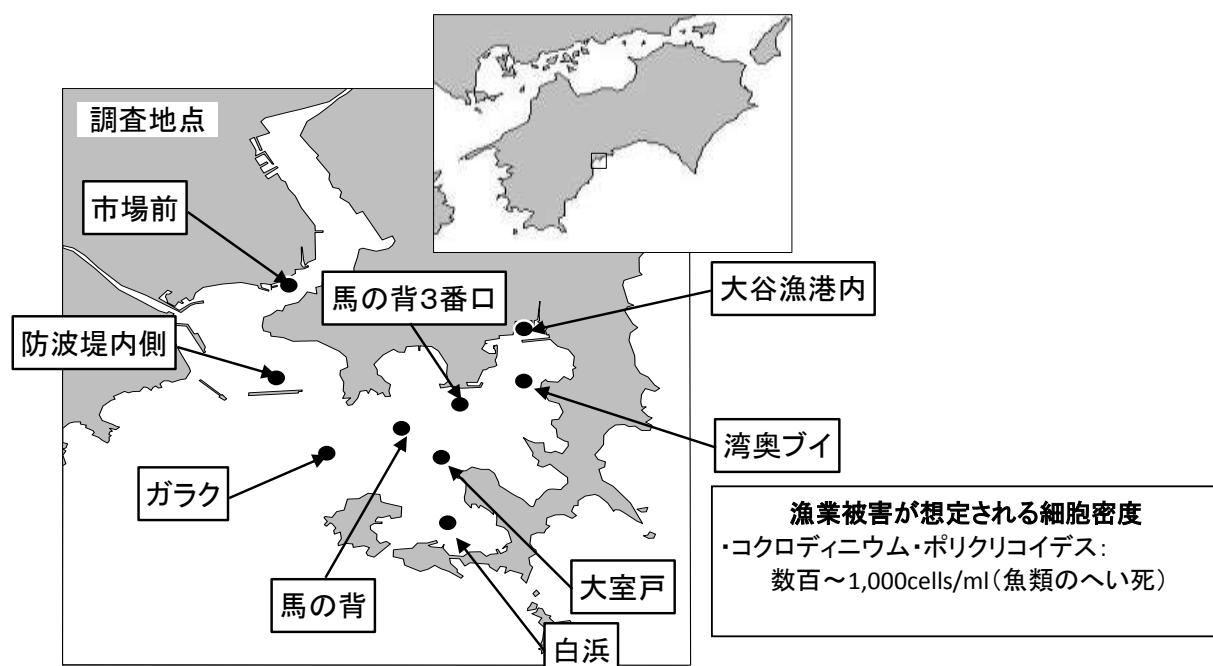


表1 水温(°C)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H28.2.25)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	15.8	15.7	15.3	13.9	15.6	15.6	0.0	15.0
2m	15.9	15.8	15.6	15.8	15.8	15.6	0.2	15.9
5m	15.9	15.8	15.7	16.0	15.8	15.5	0.3	15.9
10m	15.7	16.0	15.9	15.8	15.9	15.5	0.4	—
B-1m	15.8	15.9	15.9	15.8	15.9	15.5	0.4	15.7

表2 塩分

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H28.2.25)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	32.2	32.2	31.5	28.1	32.0	32.7	▲ 0.7	26.7
2m	32.2	32.2	32.2	31.8	32.2	32.7	▲ 0.5	32.0
5m	32.3	32.3	32.3	32.3	32.3	32.7	▲ 0.4	32.3
10m	32.7	32.6	32.4	32.5	32.6	32.7	▲ 0.1	—
B-1m	32.9	32.9	32.6	32.9	32.8	32.7	0.1	32.6

表3 溶存酸素量(mg/l)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H28.2.25)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	8.7	8.7	8.7	8.9	8.7	8.0	0.7	8.8
2m	8.7	8.6	8.4	8.5	8.6	7.7	0.9	8.3
5m	8.7	8.4	8.1	8.4	8.4	7.6	0.8	8.1
10m	8.3	8.7	8.0	8.3	8.3	7.6	0.7	—
B-1m	8.0	8.1	7.9	8.2	8.0	7.6	0.4	7.7

※湾奥ブイ・馬の背・ガラクの平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	市場前
水深	17.5	23.4	15.5	15.2	11.8
透明度	5.8	6.9	6.0	2.0	2.5
前回(2/25)	5.6	5.9	7.2	5.6	4.1

表5 プランクトン(cells/ml)

調査地点	水深(m)	コクロディニウム・ポリクリコイデス	珪藻類
		湾奥ブイ	0m
	2m	114	60
	5m	260	80
馬の背	0m	13	350
	2m	73	60
	5m	96	0
ガラク	0m	0	110
	2m	1	470
	5m	28	0
津波防波堤内側	0m	7	70
	2m	8	850
	5m	75	50
市場前	0m	12	270
	2m	99	50
	5m	54	20
大室戸	0m	53	
	2m	168	
	5m	349	
白浜	2m	5	
馬の背3番口	2m	2,916	
大谷漁港内	2m	115	